

質問

9 番議員 武田 光輝

標 題 沼津市立小中学校の教育現場における ICT 活用の現状と今後の展望について

市立小中学校における ICT の活用状況と今後の展望について質問します。

本年、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月から5月の長期に渡って市内の小中学校が休校となりました。その間、児童・生徒は基本的に自力で学習を進める必要がありました。私は現在、学習塾でアルバイトをしていますが、その時期の小中学生は大変な思いをされていたものと感じております。

高校や大学等の教育機関では、ICTの活用によるオンライン授業の実施が比較的早期に導入され、私を含めて多くの学生が学びやコミュニケーションを止めずに生活を送ることができました。しかし、小中学校においては、多くの学校が様々な課題により活用が進まずにいたものと認識しております。そのような中で、沼津市でも ICT ツールを用いてミーティングや授業参観を行っていた学校もあり、教育現場も変わってきていることを実感しました。

教育現場における ICT は、コロナ禍における活用の可能性のみならず、平時の教育現場においても大きな活用の可能性を秘めているものと考えております。

そこで質問いたします。沼津市立小中学校の教育現場において、現在の ICT の活用状況を踏まえた上で、今後どういった展望を持ち、どのような活用を考えているのか教えていただけますでしょうか。

回答

市立小中学校における ICT 活用の現状と今後の展望についてお答えします。

現在多くの学校では、ICTを活用したプログラミング学習や、動画・デジタル教材の提示、強調したい事柄の拡大表示等を実施しています。

また、小中学校の臨時休業以降、一部の学校では、不登校児童生徒への授業風景の配信や、リモートによる朝の会や授業参観、さらに教職員やPTAの会議に取り

組んでいます。

こうした中、教育委員会では、市内全ての児童生徒や教員等に1人1台のパソコンを整備し、円滑に活用できるネットワーク環境を増強する等、校内のICT環境の整備に取り組んでいます。

これからの学校教育では、児童生徒の力を最大限に引き出し、学力の向上を図っていくため、ICTを活用した教育を推進し、個別最適な学びや協働的な学びを展開していきます。

具体的には、インターネットを用いたその児童生徒ならではの課題の解決、共同編集ソフト等を用いた情報の共有や編集、遠方の学校や専門家等とのリモート学習等に活用していきます。

さらに、これまで以上に分かりやすい授業と教員の負担軽減への取組や、地域活動などの課外活動における、児童生徒の「知りたい」「学びたい」という意欲に応えられる活用に向けた取組を進めていきます。

また、学校の臨時休業等の緊急時でも学びを止めないために、学校とリモートで繋がる環境を整備していくことにより児童生徒に安心感を与え、学習意欲を維持していきます。